



えのさわ吉克県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

2月県議会一般質問 袖ヶ浦市特集

平成19年4月、県政界入りを果たした新進気鋭の政治家・江野澤吉克県議(袖ヶ浦市選出)。といっても、袖ヶ浦町議、市議を5期19年務めた地方政治のベテラン。地域づくりで培った庶民感覚、決断と実行の政治手法で、2月定例県議会では農業、福祉、環境、道路整備、防災など幅広いテーマについて堂々の論陣を張り、県当局の姿勢を質しました。



予算委員会で質問に立つ江野澤県議

次世代農業中心に教育、福祉、環境問題を質す

●広域消防体制

地域格差、拡大しないか？

江野澤 県の「消防広域化推進計画」によると、県内31消防本部を7ブロックの広域体制にし、そのスケールメリットを活用して県全体の消防力強化を図る——としているが、その7ブロックの中で、恩恵を受けられる地域とそうでない地域の格差が広がるのではないか？

大切な調和ある計画の実現

江野澤 三番瀬再生計画には、東京湾の沿岸部を通過する〈第二東京湾岸道路建設計画〉との整合性がきわめて重要と考える。道路と調和した三番瀬の再生は実現できるのか？

●有害鳥獣対策

被害防止へ、新たな支援を

近年はキヨンやアライグマも出現
江野澤 千葉県の間部では、イノシシをはじめカラスなど鳥獣類による農作物への被害が年々拡大している。特に近年は特定外来生物であるキヨンやアライグマの被害も増えてきており、農家にとってはきわめて深刻な事態。

これら鳥獣の農作物への被害を防止するため、現在の県の助成をさらに充実させて欲しい。

農林水産部長 平成20年度に、捕獲事業や防護柵の設置

江野澤 地元市町村の有害鳥獣駆除に要する事業費の負担軽減のため、県は新たな制度政策をぜひ検討すべき——と考えるが。

環境生活部長 県内市町村が行う有害鳥獣捕獲事業に対し、平成18年度にはイノシシの捕獲頭数に応じた補助金を支給するなど、各市町村の要望

●犬友会との連携強化

江野澤 農作物への被害を防止するため、これまで地元猟友会が主体となつて有害鳥獣の捕獲、駆除が行われてきたが、今後も連携をとつて被害の防止に努力して欲しい。

環境生活部長 キヨンやアライグマ被害防止のため、平成20年度から「モデル事業」を新たに実施する。猟友会との連携については、被害防止に関する助言をもらうなどしており、連携を一層強化していく。

知事 三番瀬再生計画を損な

のと考えている。

江野澤 将来市町村合併が進み、現在の合併構想が変わった場合、この消防広域化計画はどうなるのか？

知事 市町村合併は、その地域にとつて非常に大きな変化であり、その枠組みの変更に伴つて広域化の組み合わせも変えることになると思う。

えのさわ吉克プロフィール

略 歴	
昭和24年	袖ヶ浦市上宮田に生まれる
43年	木更津中央高校卒業
61年	地区青年会会長、山梨国体射撃競技に出場
62年	沖縄国体射撃競技に出場
63年	袖ヶ浦町議会議員選挙に当選
平成4年	都市建設経済常任委員長
6年	木更津中央高校父母会会長

現 職	
8年	議会運営委員長
16年	建設経済常任委員長
17年	第11代袖ヶ浦市議会議員
19年	千葉県議会議員選挙に初当選
	千葉県議会議員
	県議会常任委員
	県議会連任委員会委員
	自民党県連議員会副委員長
	自民党県連議員会副委員長

県政や上総、袖ヶ浦市の
ご相談、ご要望は
お気軽にどうぞ... えのさわ吉克 県議事務所

〒299-0222 袖ヶ浦市上宮田400 〒299-0245 袖ヶ浦市蔵波台3-1-1 新生プラザ2階
TEL.0438-75-5332 TEL.0438-97-6301
FAX.0438-75-5118 FAX.0438-97-6302

〈農業王国ちば〉の復権

次世代農業への支援

後継者育成、技術の近代化
 江野澤 気候変動による地球規模の食糧不足が問題になっている折、その自給率が40%を切るというわが国の現状を考えると、将来の〈食への不安は高まるばかり〉。千葉県は、平成6年以降農業産出額で全国2位の実績を誇り、長い間その地位を確保してきた。

しかし現在は3位に甘んじており、誠に残念といわなければならない。わが国の食糧自給率を向上させ、農業・千葉を発展させるため、千葉県農業後継者の育成、農業経営や生産技術の近代化に本腰を入れる必要があると思うが、県当局の考えを聞きたい。

農林水産部長 農業後継者の育成に関しては、農業大

学校における本格的な農業教育をはじめ、実践型研修農場の「アグリチャレンジフーム」や、プロの農家に

新しい「観光農業」の開発
 江野澤 千葉県は首都圏に

食糧自給率の向上にも貢献

後継者育成、技術の近代化

弟子入りする「プロの技会得研修」などを実施している。また、就農直後の若者を対象に農業経営に必要な知識、技術を習得する「経営体育成セミナー」、経営改善の成果を発表したり、意見交換を行う「青年農業者会議」を開催することもに、専門家によるきめ細かな指導にも力を入れている。

遊休地は分譲して活用

江野澤 県内には多くの県有地、企業庁用地があり、なかには〈遊休地〉になっている所もあるようだ。財政難を抱える千葉県として、隣接している位置にあり、豊かな自然環境に恵まれている土地柄である。

この特色を生かして、新たな〈観光農業〉を開発し、積極的に展開していくべきと思うが、県の考えは、

安全農業推進課長 千葉県には、四季を通じて多くの観光客が訪れる。これらの優位性を生かして、農家所得の向上や地域の活性化を図る意味でも〈観光農業〉は重要である。従来の〈見る観光〉から〈体験・交流する観光〉への転換を図り、千葉県農業の魅力を一歩一歩、ファンづくりを進めたい。

積極的な取り組みを明言

江野澤 県内どこからでも県都千葉市へ1時間——という計画に、地方都市の多くが地域活性化への大きな期待を寄せている。

道路整備予算のなかで、県都1時間構想を早期に実現するための道路整備促進について、県の考えを聞きたい。

道路計画課長 地域活性化、観光立県・千葉を実現するための〈県都1時間構想

2月県議会一般質問 袖ヶ浦市特集

江野澤吉克県議は、3月13日に開かれた2月県議会の予算委員会でも、次世代農業への支援や〈遊休県有地〉の有効活用、延長保育の普及などで、県政上の問題点を指摘、数々の提言を含めその改善を県当局に求めました。



2月県議会一般質問する江野澤県議 (左端は堂本知事)

認可定員、緩和すべき

夜間保育所の増設
 江野澤 県民のライフスタイルが変化している。特に共働きが常識となっている今日、安心してわが子を預けられる保育所の存在は重要であり、「保育時間を延長して欲しい」という声が高まっている。これら県民の声に応える施策を講ずるべきと考えるが――。

江野澤 夜間保育所の認可を受けるには、20名の定員をクリアしなければならないとのことだが、その定員を10名程度にまで緩和して、入所待機者を少しでも減らす努力をして欲しい。

児童家庭課長 今後〈延長保育〉の要望はさらに高まるものと思われる。昨年4月の調査では、11時間を超えて子供さんを預かっている保育所は、県内699施設のうち545カ所にのぼり、年々増加傾向にある。

江野澤 認可定員の引き下げについては、国に働きかけを希望している。

遊休地は分譲して活用

県有地の有効活用
 江野澤 県内には多くの県有地、企業庁用地があり、なかには〈遊休地〉になっている所もあるようだ。財政難を抱える千葉県として、隣接している位置にあり、豊かな自然環境に恵まれている土地柄である。

これらの県有地を分譲するなどして有効活用を図り、財源の確保を考えてはどうか？

企業庁長 京葉臨海地域埋め立て地の土地利用計画を策定するにあたり、道路用地として確保している土地

江野澤 幕張海浜公園D・Eプロックの土地の活用についてはどうか？

公園緑地課長 この土地については、現在民間活力の導入による新都心にふさわしい公園づくりの検討を進めている。

私立幼稚園への助成

幼児教育に財政支援を

江野澤 21世紀に活躍する人材育成の立場から、人格形成の第一歩となる幼児に対する教育はきわめて重要と考える。少子化が進むなかで、私立幼稚園はその多くが経営難に陥っており、財政面での支援が不可欠といえる。県は、どのような支援をしているのか？

総務部長 幼児教育を担う私立幼稚園に対する助成については、平成20年度当初予算案では、経営費補助として前年度比約1億8500万円増となる133億7000万円余の予算を計上したところである。

江野澤 21世紀に活躍する人材育成の立場から、人格形成の第一歩となる幼児に対する教育はきわめて重要と考える。少子化が進むなかで、私立幼稚園はその多くが経営難に陥っており、財政面での支援が不可欠といえる。県は、どのような支援をしているのか？

総務部長 幼児教育を担う私立幼稚園に対する助成については、平成20年度当初予算案では、経営費補助として前年度比約1億8500万円増となる133億7000万円余の予算を計上したところである。

2月県議会自民党代表質問

財源不足の当初予算を追及
 2月定例県議会最大会派自民党の代表質問に岡村泰明県議(四街道市選出・4期目)が登壇しました。

岡村県議は、財政問題、私学助成、医療の充実などを中心に質し、うち、乳幼児医療では、自民党が要望を続けてきた就学前までの通院助成は実現しましたが、なおの充実を求めました。

予算案については、「3年連続で多額の財源不足が続く当初予算は異常な事態」として知事を追及し、真の県民本位の予算のために、今後も厳しく監視を続けるとしました。

また、知事選の政治姿勢では、空港戦略、道路特定財源をめぐる見解、知事のマネーファクトについて質しました。